

群馬県の観光情報11月号

令和6年(2024)年11月19日
群馬県東京事務所 政策調整第二係

今月の県発表

No.	情報提供元	内 容
1	日本ロマンチック街道協会	<u>ドライブスタンプラリー 日本ロマンチック街道沿いの15自治体のスポットを巡ろう！</u>

今月の注目情報

No.	情報提供元	内 容	資料
1	日本ロマンチック街道協会	<u>ドライブスタンプラリー 日本ロマンチック街道沿いの15自治体のスポットを巡ろう！</u>	P.1
2	群馬県立日本絹の里(高崎市)	特別展「群馬県作家協会展～明日にいきづく伝統文化～」	P.1
3	群馬県立歴史博物館(高崎市)	<u>子どものための特集展示</u>	P.2
4	〃	<u>新春特別収蔵品展 日本美術史ことはじめ</u>	P.2
5	〃	<u>特集展示 古墳時代ぐんまの国宝埴輪と東博埴輪</u>	P.3
6	群馬県立土屋文明記念文学館(高崎市)	第124回企画展「文豪・谷崎潤一郎―美を追い求めて」	P.3
7	東急リゾーツ&ステイ(株)たんばらスキーパーク	<u>たんばらスキーパークがオープンします！</u>	P.4
8	前橋文学館(前橋市)	<u>対談イベント 九段理江(「東京都同上塔」にて第170回芥川賞受賞)×杉山達哉(「新潮」編集長)</u>	P.4
9	〃	<u>第54回萩原朔太郎研究会研究例会</u>	P.5
10	高崎市タワー美術館	<u>水のすがた</u>	P.5
11	高崎市美術館	<u>「美術が奏でる音楽」同時開催「特集展示 岡田菜美／高橋海斗／竹内美絵</u>	P.6

今月の同封資料

No.	情報提供元	内 容
1	日本ロマンチック街道協会	ドライブスタンプラリー 日本ロマンチック街道沿いの15自治体のスポットを巡ろう！
2	群馬県立日本絹の里(高崎市)	特別展「群馬県作家協会展～明日にいきづく伝統文化～」
3	群馬県立歴史博物館(高崎市)	新春特別収蔵品展 日本美術史ことはじめ
4	東急リゾート&ステイ(株) たんばらスキーパーク	たんばらスキーパーク
5	前橋文学館(前橋市)	現在を編集する 月刊新潮創刊120周年記念展
6	〃	第54回萩原朔太郎研究会研究例会
7	高崎市タワー美術館	水のすがた
8	高崎市美術館	「美術が奏でる音楽」同時開催「特集展示 岡田菜美／高橋海斗／竹内美絵

情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

群馬県東京事務所 政策調整第二係

E-mail : g-info@pref.gunma.lg.jp

電話 : 03-5212-9106 FAX : 03-5212-9103

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階 群馬県東京事務所
(東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分)

ドライブスタンプラリー 【日本ロマンチック街道協会】

日本ロマンチック街道沿いの15自治体のスポットを巡ろう！

スマートフォンを利用し、日本ロマンチック街道沿い15箇所のスタンプスポットを巡るスタンプラリーです。集めたスタンプの数に応じてペア宿泊券や街道沿い市町村の特産品が当たります。ぜひ、たくさんの方のご参加をお待ちしております。
※日本ロマンチック街道とは、日本において最もドイツ的景観を持つ街道として、長野県上田市より群馬県草津町、沼田市を経て栃木県日光市を結ぶ全長約320kmの街道です。
上信越高原国立公園、尾瀬国立公園、日光国立公園を結ぶ横断道路で、沿線には、浅間山・白根山・日光白根などの火山が造る造形美の眺められるほか、温泉や歴史・文化を楽しむことも出来ます。

https://area.jaf.or.jp/drive/stamp-rally/kanto/gunma_stamp-rally_no1295

日時	令和6年9月24日(火)～令和6年12月24日(火)	 2024ドライブスタンプラリー バナー
場所	長野県（上田市・東御市・小諸市）、群馬県（嬭恋村・長野原町・草津町・東吾妻町・中之条町・高山村・沼田市・みなかみ町・川場村・昭和村・片品村）、栃木県（日光市）	
交通		
担当	日本ロマンチック街道協会 TEL0279-82-1293	

群馬県立日本絹の里 特別展【高崎市】

特別展「群馬県作家協会展～明日にいきづく伝統文化～」

絹産業は、養蚕・製糸・染織に携わる職人と、それらに必要な道具や信仰物等を作る多くの「匠」の技に支えられてきました。伝統の技を継承して創作活動を行っている群馬県作家協会会員の作品を展示し、絹文化や創造の魅力をお伝えします。

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

日時	◆会期：令和6年12月21日（土）～令和7年2月3日（月） ◆開館時間：9時30分～17時 ◆休館日：火曜日、年末年始[12/27（金）～1/5（日）] ※1/3（金）は臨時開館	 （チラシ表面）
場所	◆群馬県立日本絹の里（群馬県高崎市金古町888-1）	
交通	◆電車：上越・北陸新幹線 高崎駅からバスで約30分 ◆車：関越自動車道 前橋ICから約20分	
担当	◆群馬県立日本絹の里（担当：竹内）TEL027-360-6300	

群馬県立歴史博物館 子どものための特集展示【高崎市】

昭和の暮らし

昭和時代に使われていた生活道具を展示します。併せて、昭和30年代の茶の間や昭和50年代の応接間を展示室の一部に再現し、当時のくらしの様子を紹介します。

※新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」も同時開催します
※特別展観覧料で2つともご覧いただけます
【当館HP】<https://grekisi.pref.gunma.jp/>



「昭和の暮らし」昨年度展示風景

日時	◆2024年12月21日（土）～2025年2月9日（日） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）	 新春特別収蔵品展・子どものための特集展示ポスター
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）	
交通	◆車：上信越自動車道の「藤岡IC」より約10分。 関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。 北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。 アイ・ディー・エー群馬の森公園の大駐車場を利用（無料）。 ◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。	
担当	◆教育普及係 原（027-346-5522）	

群馬県立歴史博物館 新春特別収蔵品展【高崎市】

日本美術史ことはじめ

「美しい」とは何でしょう？絵画作品だけでなく、群馬県立歴史博物館が保管する考古資料・仏像・刀剣など、様々なジャンルから美術史視点で「美しい」に迫っていきます。また、県指定重要文化財「長光」を寄贈後初公開いたします。

※子どものための特集展示「昭和の暮らし」も同時開催します
※特別展観覧料で2つともご覧いただけます
【当館HP】<https://grekisi.pref.gunma.jp/>



県指定重要文化財 太刀 銘 長光
（鎌倉時代後期、当館蔵）



埴輪 挂甲武人
（古墳時代、高塚古墳出土、群馬大学共同教育学部蔵、当館寄託）



新春特別収蔵品展・子どものための特集展示ポスター

日時	◆2024年12月21日（土）～2025年2月9日（日） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）	 新春特別収蔵品展・子どものための特集展示ポスター
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）	
交通	※上記と同様	
担当	◆学芸係 江原（027-346-5522）	

群馬県立歴史博物館 特集展示【高崎市】

古墳時代ぐんまの国宝埴輪と東博埴輪

- ・ 東京国立博物館（東博）に所蔵されている、群馬県ゆかりの埴輪3体が「里帰り」
- ・ 綿貫観音山古墳（高崎市）から出土した国宝指定埴輪との「共演」が実現
- ・ 埴輪造形の豊かさと古墳時代東国の輝きを実感、出土古墳の最新情報も紹介
※常設展示の観覧料でご覧いただけます

【当館HP】 <https://grekisi.pref.gunma.jp/>



太田市四ツ塚古墳埴輪
盛装の男子
東京国立博物館所蔵
出典 ColBase
(<https://colbase.nich.>)

日時	◆2024年10月22日（土）～2025年5月25日（日） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）	
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）	
交通	※上記と同様	
担当	◆学芸係 飯田 （027-346-5522）	

群馬県立土屋文明記念文学館【高崎市】

第124回企画展「文豪・谷崎潤一郎—美を追い求めて」

谷崎潤一郎は、「刺青」「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」など数多くの作品を生み出し、最晩年まで自分の信じる「美」を追求し続けました。

本展では、その生涯や、代表的な作品、3回にわたって改訂された「潤一郎訳源氏物語」を紹介し、谷崎の追い求めた「美」に迫ります。また、谷崎と群馬との繋がりについても取り上げます。

本展や関連するイベントへの申込などの詳細は、当館ホームページをご覧ください。

<https://bungaku.pref.gunma.jp/>



企画展チラシ

日時	令和6年10月19日（土）～令和7年1月26日（日） ※火曜休館 ※12月27日（金）～1月4日（土）は休館	
場所	〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 群馬県立土屋文明記念文学館	
交通	◆車：関越自動車道前橋ICから約15分 ◆タクシー：JR高崎駅西口から約30分	
担当	群馬県立土屋文明記念文学館 TEL 027-373-7721	

たんばらスキーパーク【沼田市】

たんばらスキーパークがオープンします！

群馬県沼田市のスノーリゾート「たんばらスキーパーク」が11月30日（土）にオープンします（予定）。「たんばらスキーパーク」は、首都圏から約2時間でアクセス可能なスキー場で、全8コース（初級・初心者コース2本、初中級・中級コース5本、中上級・上級コース1本）から構成されており、子どもから大人まで楽しめます。

標高1,250m～1,550mに位置するので良質なパウダースノーの降雪量が多く、GW頃までロングシーズン楽しめます。

雪遊び専用エリア「たんばランド」では、ソリやチュービング、スノーストライダーでお子さんもしっかり遊べます。

パーク内では、たんばら井や群馬県産豚肉を使用した料理、地元の人気店「OREGA」のラーメンなどグルメも充実。

混雑を減らすためにリフト券購入・レンタル申込・スクール受講のWEB事前予約・決済サービスを導入しているほか、各種キャッシュレス決済にも対応しています。

【URL】 <https://www.tambara.co.jp/winter>

日時	◆2024年11月30日（土）～2025年5月6日 ※予定
場所	◆群馬県沼田市玉原高原
交通	◆車：関越自動車道 沼田ICより約19km
担当	◆東急リゾート&ステイ(株) たんばらスキーパーク (TEL. 0278-23-9311)



ファミリーにおすすめのゲレンデ

対談イベント 九段理江（「東京都同上塔」にて第170回芥川賞受賞）×杉山達哉（「新潮」編集長）

気鋭の芥川賞作家と日本を代表する文芸誌「新潮」編集長との対談

「東京都同上塔」にて第170回芥川賞を受賞した九段理江氏と、日本を代表する文芸誌「新潮」の編集長であり、九段氏の担当編集者である杉山達哉氏をお招きし、受賞までのエピソードほか、お二人ならではの貴重なお話をうかがいます。なお、このイベントは10月5日（土）～2025年1月26日（日）まで前橋文学館で開催する「現在（いま）を編集する—月刊「新潮」120周年記念展」関連企画として開催します。

九段理江

1990年、埼玉生まれ。2021年、「悪い音楽」で第126回文学界新人賞を受賞しデビュー。同年発表の「Schoolgirl」が第166回芥川龍之介賞、第35回三島由紀夫賞候補に。2023年3月、同作で第73回芸術選奨新人賞を受賞。11月、「しをかくうま」で第45回野間文芸新人賞を受賞。2024年1月、「東京都同情塔」で第170回芥川龍之介賞を受賞した。

杉山達哉

1987年生まれ。2011年、新潮社に入社。「週刊新潮」編集部、出版部を経て、2017年より「新潮」編集部所属。2024年4月より同誌編集長。村田沙耶香「地球星人」、千葉雅也「デッドライン」、高山羽根子「首里の馬」、坂本龍一「ぼくはあと何回、満月を見るだろう」、九段理江「東京都同情塔」などを担当。

日時	◆12月14日（土）14時開演（13時30分開場）
場所	◆前橋文学館 3階ホール（前橋市千代田町3-12-10）
交通	◆電車：JR両毛線・前橋駅北口から徒歩15分 ◆車：関越自動車道・前橋ICから車で15分
担当	前橋文学館 027-235-8011



フライヤー

萩原朔太郎研究会発足60周年 第54回萩原朔太郎研究会研究例会 【前橋市】

萩原朔太郎研究の最前線を紹介

1964年に設立された萩原朔太郎研究会は今年で発足60周年を迎えました。それを記念して今回の研究例会では赤坂憲雄先生の講演と、初の試みとしてラウンドテーブルを開催します。ラウンドテーブルとは参加者の意見交流を主眼としたトークセッションで、近著『萩原朔太郎と詩的言語の近代』（思潮社）で第26回小野十三郎賞詩評論書部門を受賞した安智史先生の講演を起点に朔太郎研究の〈これまで〉と〈これから〉を検討します。定員100名、参加無料です。

日時 ◆ 12月1日（土） 13時開演（12時30分開場）

場所 ◆ 前橋文学館 3階ホール（前橋市千代田町3-12-10）

交通 ◆ 電車：JR両毛線・前橋駅北口から徒歩15分
◆ 車：関越自動車道・前橋ICから車で15分

担当 前橋文学館 027-235-8011



フライヤー

高崎市タワー美術館【高崎市】

「水のすがた」

水は気体、液体、固体と状態を変えながら、地球上を絶えず循環しています。作品の中では、流れる滝や川など雄大な自然の姿として、また、波ひとつないおだやかな湖としても描かれ、大気中を流れる霧や雲、雨や雪などの気象としても表現されています。本展覧会では、力強さと静寂が共存する滝、静かに降り注ぐ雨、美しい水田などを描いた作品約45点を紹介。さまざまに変容する水のすがたをお楽しみください。

<https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/tower/49684.html>

日時 ◆ 令和6年11月30日（土）－令和7年1月19日（日）

場所 ◆ 高崎市タワー美術館（高崎市栄町3-23）

交通 ◆ JR高崎駅東口より徒歩2分

担当 ◆ 高崎市タワー美術館（027-330-3773）



千住博《ウォーターフォール》
寄託作品

「美術が奏でる音楽」同時開催 「特集展示 岡田菜美／高橋海斗／竹内美絵」 高崎市美術館【高崎市】

音楽をテーマとしたコレクション展と群馬県出身、若手作家3人の特集展示

日常のあらゆる場面に音楽が流れているように、美術作品の中にも音楽を感じさせるものがあります。楽器や演奏者が描かれた油彩画や、静かなメロディを奏でているかのような緻密な銅版画、はじける音が聞こえてくるような大胆な色使いの作品など、本展覧会では音楽をテーマに高崎市美術館のコレクションを紹介します。音楽を連想させるアートの世界をお楽しみください。

また、同時開催として、いずれも群馬県出身で1999年生まれの3人の作家—岡田菜美（画家）、高橋海斗（写真家）、竹内美絵（画家）—の作品を特集展示します。移ろいゆく時間と記憶、峻烈な自然と動物たち、鼓動する生命の形など、それぞれのテーマを熱く追求する若い作家たちの現在地点を紹介します。

<https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/art-museum/>

X (旧Twitter) 公式アカウント @takasaki_inoue

日時	◆ 11月23日（土・祝）～12月26日（木） 【高崎市美術館】 10時～18時（金曜日のみ～20時） ※入館は閉館30分前まで 【旧井上房一郎邸（美術館敷地内）】 邸内：10時～11時、14時～16時 庭園：【11月】10時～18時 【12月】10時～17時 ※入園は閉園30分前まで	
場所	J R 高崎駅西口から徒歩3分	
交通	◆ 電車：J R 線 高崎駅西口から徒歩3分 ◆ 車：関越自動車道 高崎 I C から約20分	
担当	◆ 高崎市美術館（TEL 027-324-6125）	

豊田一男《笛を吹く人》
1978年 油彩・キャンバス
高崎市美術館蔵